

(トラック①)

(恋鈴：中・中)

(申し訳なきような感じで)
ごめんねえ

旦那くん、ごめん。

私たちの家なのに、
旦那くんが一生懸命働いて
ローン払ってくれている
私たちの大事なリビングなのに…
こんなことになって…ごめんね…

(長瀬：やや右・近)

(顎をしゃくって見下ろすように)

ほら、大人しくしなさいよ
全裸にひん剥かれて、
ちんぽ丸出しにさせられて、
椅子に縛られてき

悔しいねえ？
恥ずかしいねえ？

(耳の裏をなぞるような、ねっとりとした声で)

(長瀬：右・近)

でも、本当に情けなくて、
屈辱感を味わうのはこれからが本番だから
しっかりと噛み締めた方がいいよ？

アタイの大事な男に喧嘩売ったツケを、
あんたたち夫婦に、
しっかりと払わせてやるんだからさ。
ほら、もっと後悔させてやるから、
ふふっ、一生記憶に残るトラウマ、

あんたたち夫婦に
しっかりと植え付けてあげるゝ

（恋鈴：中・中）

（正面、少し距離のある場所で、衣擦れの音と共に必死の抵抗）
うう…

まきちゃん、許してよ…。

いつもママさんバレーの集まりで
仲良くしてくれてるのに、

こんなの…酷いよ…

（長瀬：右・近）

（呆れたように鼻で笑い）

ふふっ、ごめんねサユリ。

でも、あんたの旦那が悪いんだよ？

昔、全国だか何だかの

大会に出てた選手だからってき、

アタイの大事な男に喧嘩売ってきてき。

（言い聞かせるようにゆっくりと）

それで、賭けであたいと彼のチーム、

そしてあんたたち二人夫婦で試合したらき、

ボロ負けして、

『一週間なんでも言うこと聞く』って約束、
忘れてないよね？

当然、おままことみたいなの

言葉遊びじゃなくて、

本気の大人としての契約。

（夫の耳元で、蔑むような吐息を吹きかけ）

（長瀬：右・密着）

だいたいさ、あんたみたいな雑魚旦那が、
うちの大事な彼に、勝てるわけないんだよ。

彼さ、オリンピックの出場経験もある
ガチでフィジカル強々の
最強のセンターバックなんだから、

あんたみたいな雑魚が
何やったって勝てるわけないんだよ。

（楽しそうに弾んだ声で）

現に今だって、

自分の妻が体を

好き勝手にまきぐられてるっていうのに、
ただ情けない姿晒してるだけで、
何もできやしないじゃないか。

調子に乗って言い切った雑魚って、
本当に情けない。

（顎を掴んで無理やり前を向かせるような威圧感で）

（長瀬：右・近）

ほら、見てごらんよ。

自分の妻のサユリが、

今どんなことになってるか。

（SE：布が引き裂かれるような音、肌が露わになる音）

（恋鈴：中・中）

あつ、やめて、触らないでっ！
旦那くんの前で、そんなっ！

あゝあゝ…ユニフォーム、脱がされて…
やゝやめてって言ってるでしょゝ

旦那さんの目の前で、
他の男性にお洋服脱がされちゃうの、
嫌なの！

(両腕で体を隠そうとするが、剥がされる音、震える声)

いやだ、旦那くん見ないで！

うう…旦那くん以外の男の人に…

おっぱい、見られちゃった。

あつ、やだやだ、

触らないで、おっぱいの先っぽ！

(乳首を摘まれ、強引に弄られる音に嬌声が漏れる)

私の陥没乳首をサワサワして、

お乳首を奥から出してこないでえ！

あん、ああっ！

(おっぱいを触られている…無声音あえぎ声 20秒)

(長瀬・右・密着)

(夫の反応を面白がるように、覗き込みながら)

ほら、あんたの奥さん、

他の男に乳首触られて、

“感じさせ”られちゃってるよ？

情けないねえ

恥ずかしいねえ

(残酷な事実を突きつける、冷ややかな声)
他の男に…

自分の妻の大事なところ触られまくっても、
縛り付けられてるあんたには…
なんくんにもできないんだよ？

でもしょうがないよね？

調子に乗ったあんたが悪いんだよ。

ほら、しっかり見てなよ。

自分の妻が、

今からどんなことさせられるか、

悔しがりながら、しっかり見るんだ。

それが、

あんたら情けない雑魚夫婦の

お似合いの姿なんだからさ。

(強く攻める感じで)

ほら、ほら、ほら

(太ももが開かれる音、粘膜が空気に触れる音)

(恋鈴：中・中)

あつ、だめ、そこは本当にだめ

やだ、お指…

おまんこに入れてこないで

触らないで！

そこは旦那くんしか

触っちゃダメなところなの、

指、入れてこないで！

(ぬぷり、と指が侵入する水音、息を飲む音)

(あえぎながら…読む感じで)

あつ、指、太い指

旦那くんのよりも…大きくて太い指が…

おまんこにゆつくり、ああ

ゆつくり…入っちゃってる…

あつ、だめ、だめだめ！

太いの入れてこないでっ！

(エロい喘ぎ声 15秒)

(右耳で、ねつとりと解説するように)

(長瀬・右・密着)

ふふ…あんたの特等席、

今他の男に…汚されちゃおうとしてるよ？

今はまだ指だけどき、

この前戯が終わって、

おまんこヌルヌルにされちゃうと…

ぶつとくてデッ…カいの…

おまんこに出し入れされちゃうね？

(股間を見下ろし、嘲笑うように)

彼のデッカイ極太ちんぽで

おまんこ汚されちゃったら…

あんたのその粗末なモノじゃ、

もう…相手してもらえなくなっちゃうかもね？

だってそんなに小さくて惨めで、

粗チンの包莖ちんぽなんて、

誰も相手したくないんだからさ、

デッカイ本物のちんぽ貰ったら、

そんなちんぽ、

すぐに捨てられちゃうかもねー。

(勝ち誇ったように笑い)

ん？ なに？ なに？

悔しい？ 恥ずかしい？

でも、あんたが悪いんだよ？
ほら、見てごらん？

（恋鈴：中・中）

（グチュグチュとかき回される水音、苦悶と快楽が混ざった喘ぎ）

あつ、やだやだゝ

お指、どんどん奥まで！

旦那くんしか…

触っちゃいけないところ…

どんどん奥まで…

入れられて、あんっ！

お指、ああ、お指！

（腰が浮き、椅子がきしむ音）

二本も入れられて、出し入れされると、

ああやだ、やだ、腰、浮いちゃう。

こんなデツカイ指で

おまんこズボズボされちゃうと、

気持ちよくないのに、

旦那くんに見せたくないのに…

お指、

ああゝおまんこヌルヌルになってゝ

スケベな音出て…

どんどん恥ずかしくて、

悔しくなっちゃうのにゝ

（否定の言葉とは裏腹に、濡れた音が激しくなる）

感じてなんか、ないのに、

どんどんおまんこ…

ビショ濡れになってるところ、

旦那くんに見られちゃう。

やだ、やだ、やだあつ！

(エロい喘ぎ声 15秒)

(長瀬・右・密着)

はあ…ていうかお前さ…

なに…ちんぼ勃ってんの？

全裸にひん剥かれて…

椅子に縛られてさ

自分の奥さんの

こんな恥ずかしいところ

見せられてるのに、ちんぼ勃ってんじゃん。

あんた変態なの？

寝取られ性癖ってやつ？

(軽蔑しきった、氷のような冷たい声で)

自分の大事なものがさー、

自分よりも強いオスに

食われようとしてるのにさー

ちんぼ勃てちゃうなんて、

人として…生物としてマジ終わってるわー

ほら、

あんたの奥さんも見てるよ？

自分が今から犯されようとしているのに、

粗チンを勃起させて興奮してる変態のこと。

(絶望を宣告するように)

あーあ、これはもう、

約束の一週間が終わっても

絶対に関係修復なんてできないよね。

わかってる？

全部あんたが悪いんだよ！

（恋鈴：中・中）

（涙声で訴えるが、吐息混じりで言葉が途切れる）

あ、やだやだ、旦那くん。

なんで私が

おっぱい指でつままれてコリコリされてゝ

おまんこ指出し入れされて

ビショビショにして、

恥ずかしい声我慢してるのに、

おちんちん、勃起ちゃってるの？

自分の奥さんが、

他の男の人にエッチなことさせられて、

おちんちん勃起ちゃだめだよ。

（激しい水音、クリトリスを弄られる音）

ああ…あゝ♡

指…ズボズボ…ズボズボ速くなってるゝ

これ、これ以上続けられると、

おまんこ、おかしくなっちゃうっ！

やだやだ！そこ、そこ、

指でゴシゴシされて、

おまんこ、勃起しちゃうってる。

クリお豆さん…

指で潰しちゃだめ！

エッチな声ごんごん出ちゃうっ！

お願い、もう許してえ！

（長瀬：右・密着）

あはっ、見てごらんよ？

あんたたち夫婦の家のリビングにさ、

まん汁で水溜まりできるぐらい

びしょびしょに

おまんこ濡らしちゃって

こんなにスケベな

変態汁撒き散らしたらさ、

もう『デッカいチンチン入れて欲しい』って。

言ってるようなもんだよねー？

（悪魔的な提案を囁く）

ほら、自分の奥さんが

デカちゃんぽで抱かれるの、

見せられちゃいなよ。

（復唱する感じで）

はあ？

自分はどうなってもいいから

それだけは許してくれ？

ふふ…

何でもするから…

奥さんのおまんこ、

デカちゃんぽで貫くの許して欲しいんだ…

（意地悪にトSな声で）

そんなお願い、

聞けるわけないのにねー

（長瀬：やや右・近）

（男の方を向き、甘えるような猫撫で声で）

んふふ♡

そっか…

そっかそっか♡

やっぱり…

私の男は優しくて強いね…

（長瀬：やや右・中）

そんな…

あなたのこと好き。

（中：密着）ほら、

キッス、キッス、キッス、んっ

（キス 8秒）

とろけるぐらい強いオスにキスするの…
嬉しい〜♡

（長瀬：やや右・近）

（夫に向き直り、冷酷なトーンに戻って）

ほら、よく聞きなよ。

あんたがさ、悔しがりながら
目の前でシコって射精したら、

今日は奥さんの“おまんこ”

使うの許してあげるって。

優しいね？

カッコいいよね？

（ゴミを見るような目つきで）

あんたみたいな、

床に這いつくばることしかできない
底辺男とは、

まるで別の次元の生き物。

ほら、彼の気が変わらないうちに、
自分でその粗チンしごいて、
情けなく敗北ザーメン漏らしたら？

気が変わらないうちにぎ、ほら、
ロープ緩めてあげるから、

片手だけだったら、動かせるだろう？

（急かすように、強く）

早くその惨めな粗チンゴシって、
敗北オナニー

射精で負けちゃいなよ、

ほら、ほら、ほら！

（強い口調で）

シコレ、シコレ！

この変態雑魚

早くしこってザーメンもらせよゴシ！

（恋鈴：中・中）

（首を振り、泣きながら懇願する）

あ、やだ、旦那くん、

そんな恥ずかしいことしないで…

奥さんのおまんこ、

他の男に指で…

ズボズボ、ズボズボされてるのに…

情けないのに、

悔しいのに、

恥ずかしいのに…

そんなに…

おちんちん握り込んで

…

ちくしょう、

ちくしょうって言いながら、

オナニーしちゃだめだよぉ

(快感に耐える声が漏れ出す)

私、おまんこ、

こんな風にズボズボ、ズボズボっ、

デッカくてかっこよくて

強いオスの指出し入れされてるけど、

イクの我慢してるんだから〜

だから、

そんな恥ずかしくて

情けないことしないでー！

(長瀬・右・近)

(嘲笑を交えて)

うわ、マジで哀れ〜

こんな

“ちっちゃいちんぽ”のくせにさ〜

ガチガチ勃起して…

必死で射精しようとして

腰突き出して、ちんぽ降ろしてさ、

しかもちんぽの扱き方…

マジで終わってる〜

包茎ちんぽの

気持ち悪い皮を使って…〜

ズリズリ、

ズリズリ、ズリズリって、

マジでなっさけな〜。

あっははっ、

便利でいいね〜、

こんな天然皮付きオナホがついてればさ〜

一生オナニーには困らないんじゃない？

サユリのおまんこは、
今からデッカイ強ちんぽ様が
オナホ扱いしてくれるからさ、

代わりにアンタは
その粗末な天然皮付きオナホで
シコつて射精しなよ。

どうせ、

そんなちっちゃい惨めちんぽなんかじゃ、
女のまんこ感じさせることなんて
できないんだからさ。

（恋鈴：中・中）

（限界に近い高音の喘ぎ、激しい水音）

あ、やだやだ〜
お指の動き、だんだん奥まで〜

旦那くんしか…
触っちゃいけないところ、
どんどん奥まで入れられて〜

ああっ
指、三本入れられて〜
おまんこかき回されるように、
ぐちよぐちよ、ぐちよぐちよして〜

あ、おまんこ、だめ、
だめなのに、もうイキそう！

（理性が飛び、本能剥き出しの声）
この強いオスのおちんちん、
おまんこの奥で出し入れして
ズボズボされるの想像して、全身震えちゃう〜

旦那くん以外の男のちんぽ
思い浮かべながら、おまんこイっちゃう！

あ、やば、やばい、

イっちゃう、イっちゃう、

だめなのに、もうすぐイっちゃう！

（オホ声まじりの喘ぎ声 15秒）

（長瀬・右・近）

ほら、あんたもその惨めな粗チンで、
しっかり射精しなよ？

自分の奥さんが

他の男でイカされるのを

しっかり見つめながら、

情けなくて恥ずかしい敗北射精、

さっさとしな？

（長瀬・右・密着）

早くしないと気が変わって、

びしょびしょに濡れて

準備万端なサユリのおまんこ、

指の代わりに

デッカいちんぽ入れられて、

中出しぴゅっぴゅ決められちゃうよ？

ほら、

早く出せ、出せ、出せ！

ザコ！ザコ！

クソザコ！

（恋鈴：中・中）

（正面から、激しい水音と共に絶叫に近い喘ぎで）

あっ、いくー！いく、いく！

デカちんぽとおまんこ、ごしごしされてー

おまんこ、ひくつかせながらあー

指ちんぽに負けて、

ああっ、おまんこ、イクっ、イクっ、

おまんこイクうーっ！

（絶頂直後の痙攣、荒い呼吸と力の抜けた声）

ああ、っ、ああ、

まん汁、出てるう、おおっ！

ぶっぱなしてるうーっ！

（長瀬：右・近）

（右耳元で、心底呆れたような深いため息）

はあーあ、

マジで情けな…

他の男がイかせた奥さんのマン汁、

ちんぽにぶっかけられて、

それでトロトロって、

情けない雑魚射精しちゃってき。

（精液を指先で掬い上げるような濡れた音）
ていうか、何その精子の量？

あんなに頑張ってこすって、

へこって、

それでビュって出したのにー

それしか出ないんだ？ へーマジで雑魚…

（恋鈴：中・中）

（困惑しながら）

うううゝ

旦那くんの前なのに…

他の男の人におまんこイカされちゃった。

駄目なのに、

恥ずかしいのに、

でも、きもち、よかったの、
なんで…なんだろう……。。

（長瀬：右・近）

（右耳の奥深くに吐息を吹き込み、宣告するように）

ほら、じゃあさ、あんたら二人、

これから一週間、

私たちの奴隷だから、

何でも言うこと聞きなよ？

絶対に終わるまで

許してやらないんだから。

私たち二人に、

精一杯、

遊んでもらえるように頑張rinaよ？

（長瀬：右・密着）

この、雑魚旦那。

(トラック② [恋鈴さん27ページ](#))

([長瀬・中・近](#))

ほら、早くちんぽ出せよ。

彼からの命令なんだから、

アタイに約束破りさせんなよ。

今からあんたのその…

情けない粗チンをさ…

アタイが“手まっこ”でこしって

早漏ザコイキ射精させてやるからさ…

(不可解そうに首を傾げ、小馬鹿にした口調で)
ん？

なんで…そんなことさせんのかって？

はあ？

頭が悪くてわかんないかな

アタイの男からの、

せめてもの慈悲だよ、慈悲。

あんたの奥さんはさ…

今から…

あんたが見学してる前で、

あのスケベなエロまんに…

デカちんぽズボズボされて

中出しされちまうんだよ？

あんたがさ、

身の程知らずに

強いオスに挑んでボロ負けしたから、

あんたの大事な妻の子宮はさ、

デッカいちんぽで
生でズボられて、

強くてカッコン DNA
びゅーびゅー中出し射精決められて

卵子食われまくって、
絶対孕んじゃうんだからさ。

それを

あんたに見せつけながら
中出ししてやりたいんだってさ。

あんたにとっては屈辱で…
情けなくて

脳みその回路…
ぶっ壊れちゃうぐらい
ヤバいことだからさ、

せめてもの慈悲で、
見せつけセックスする前に一発抜いて、
金玉だけでも
スッキリさせてやるっていう、
彼からのせめてもの慈悲だよ。

オスなんて
ちんぽちっちゃくしてれば
大人しくなるんだからさ。

(股間を指先で弾くような仕草で)

ほら、
早くその粗チンザーメン抜かせろよ。
『シコって射精させてこい』って
命令されてんだから、
ほら、さっさとさっせろよ。

やらせないと、

あんたの奥さんにその分、
皺寄せがいくぞ？

彼、

実は…すごいドのだからさー。

彼と奥さんとのセックス、
痛いSMプレイに
切り替えられたくないだろう？

(痛々しい擬音を強調して)

お尻上げさせられて、
デッかい手のひらで
バッチンバッチン叩かれて、
お尻真っ赤っかにされて、
後ろから…デカちんぽでズドンって犯される。

そういうプレイにしてやっても
いいんだよ？

でも…そんなの、
夫のあんたは嫌だろう？

ほら、
だからちんぽ早く出せよ、
ほら、ほら。

(徐々に笑い声が漏れてくる感じで)
んっふっふ

なーにこれ、
ちんぽ勃起してんじゃん…

『あんた最低だな』

これから

自分の妻のまんこの

寝取られセックス

見学させられるって分かってんのに…

こんなにガチ勃起してき、

本当に情けな。

ほら、

この恥ずかしく勃起してるちんぽ…

今からアタイが

シコって射精させてやるから、

大人しくしてなよ。

あんたのその粗チン、

ローションなんて勿体ないからさ、

睡でほーら。

(ぺっ、と唾を吐きかける音)

ちんぽの先っぽ、ほら、

ペッて引っ掛けてやって…

お、ちっちゃいちんぽ、

ピクピクしてた、恥ずかしー。

(ジュル、クチュ、と唾液を塗り広げながら激しくズリ上げる音)

ほら、このピクピクちんぽ、

手で握り込んでほら、

ズリ、ズリ、ズリ、ズリ。

これはあんたの粗チンから

最も早く射精させるための作業だから…

さっそく漏らしなよ…

腰を引いて…

目をとろけさせながら…

（復唱する感じで）

そんなに早くズリコキしないでー
ザコチンポ壊れちゃうー

なんて…アへってないで、
さっさと射精しなよ。

（手際よく動かしながら、昔話をするように）

アタイさ、昔、

手コキ専門店で働いてたから、
めっちゃちんぽの

扱い方…上手いんだよ

コンビニのバイト代に
ちよつと毛が生えたぐらいの
時給だったけどさ、

毎日いろんなちんぽ、
あの手この手でシコって出させるから…
指名がひっきりなしに入るぐらい、
人気の嬢だったんだ。

（声のトーンを落とし、恍惚とした響きで）

でも…彼は違ったの。

初めて私が接客ついた時に、
彼のデッカくて硬くて
たくましいちんぽを見て、

こんな素敵なちんぽ
シコらせてもらえるの…めっちゃ嬉しいと思ったの。

でも、いくらシコっても、
両手でこしっても、
金玉マツサージしても、
全然イかなかった。

手コキの店なのにき、
そんなんじやイけないからって
押し倒されてき、
服ぜんぶ剥ぎ取られて…

そのままデカちゃんぽ、
中に強制的にズボつけられて、
本番セックスされちゃったよ。

もちろん追加料金とか
裏オプとか無しでき…
しかも生でだよ

(メス声をしっかり出して)
でも、

アタイ、全然嫌じゃなかったんだよ。

いつも相手してるような、
ちよつとシコってやると
すぐに情けない雑魚ザーメン漏らす
貧弱な野郎共じゃなくて…

こんな強いオスの相手を
おまんこで…
“コカせて”もらえるんだって思っ
とって嬉しかった。

やっぱり男は強くて、
ちゃんぽデカくないと価値ないからき。

(スパートをかけるように、強く、速くしごく音)
ふん

ほら、ほら！

あんたみたいな

こんな情けない粗チンのくせに
すぐに射精しちまう男になんて、
女は興味ねえんだよ。

だからほら、出しちゃえよ。

(抵抗を感じ取り、サディスティックに笑う)
はあ？

何？

抵抗してるつもり？

腰引いて、
せめて射精はしないように
頑張ってるんだ
ははっ、情けな。

店で働いてたときもきー
そうやって、
時間ギリギリまで射精我慢して
楽しもうとするコスイオスなんて
いくらでもいたんだからさ。

そういう聞き分けのない雑魚ちゃんぽは
ほら、こうやってお皮しっかり剥いて、
手のひらで亀頭だけズリって

ほら、このグリつき回すような
えっぐい無慈悲な鬼手コキで、
速攻退治してやってたんだよ？

（長瀬：やや右・密着）

（囁きで…煽り立てる）

ほら出せ、

ほら出せ、ほら出せっ！

その情けない金玉で作った、

貰い手のない

廃棄汚物をさっさと出して、

惨めになれよ。

ほら出せ、ほら出せ、ほーら出せっ！

（長瀬：中・中）

（興味なさそうに、淡々と）

ああー、出た出たー

情けない雑魚ザーメン…

びゅびゅって…

こんな少ない量のザーメン、

手のひらに出されても

何にも感じないーいー

（ジュルっ、と掌の精液を啜る音）

ほら、

手洗うのも面倒くさいからさ、

お前の雑魚ザーメン、

手のひらに出たの、

ジュルジュルって飲んでやるよ。

（長瀬：中・密着）

（精子を飲む音 5秒）

うーん

やっぱり雑魚い男の精子なんて…美味くもねえし、全然ダメ。

（顎で妻の方をしゃくり、視線を誘導して）

（長瀬：やや右：中）

じゃーあ、ほら…

お前ら夫婦の寝室イってこい。
アタイはここで見てるからさ。

あんたの女が、
デカいちんぽに
食い荒らされる姿、
しっかり見届けてこいよ。

（トラック③ 長瀬さん 35ページ）

（恋鈴：中・遠）

（夫から顔を背け、涙交じりの声で）
（息を切らせながら読む）

あっ

旦那くん、見ないで、見ないで

私の…

恥ずかしくて情けないところ…
見ないで。

違うの…

まだエッチされてないよ？
おまんこはまだ使われてないの。

でもね、お尻いっぱい叩かれて、
私の恥ずかしいところ全部見て、
私…マゾだって気づいたの。

あの男性に…

お尻叩かれて…

土下座して、

頭踏まれて、

自分でオマタ広げさせられて…

目の前で…

おまんこズリズリするのが…

大好きな変態マゾ女だって、

さっき気づかされたの…

（快感に陶酔したような、甘く蕩けた声色へ変化）
強い男に

イジメられるの、きもちいい。

いつも陥没してる乳首、

両方とも捻り出されて、

つまみ上げられて、

それで恥ずかしくて情けない顔
いっぱい見られて…

頭掴まれて、

無理やりジュッポジュッポって

喉の奥でフェラさせられるのが

気持ちいいって…

気づいちゃったの…

（グチョ、と股間を指で広げる粘着質な音）

ほら、

旦那くん見て？

へこへこへこへこ

自分の奥さんが、

ガニ股へこへこポーズで、おまんこっぴろげちゃってるよ？

私のおまんこ、

もうビショ濡れで、

ヒクヒクして、

別の生き物みたいでしょ？

(男に向かって必死に懇願する、媚びた声)

女はね、マゾに落ちると、

こういうふうな

変態な愛液垂らして

お漏らししちゃうのが

普通なんだって…

さっき教えてもらったの。

(焦りながら、男の腰にしがみつく衣擦れの音)

あ、やだ、やだ…

おちんちん…

しまおうとしないで

旦那くんの前でおまんこ晒したら、

おちんちんくれるって言ってたのに

そんなゴミビッチおまんこじゃ、

ちんぽ入れたくないなんて、

意地悪しないで。

お願いします…

一回、旦那くんの前で

おちんちんしゃらしちゃって下さい。

もし…しっかりおフェラできたら、

この強いおちんちんで、私のおまんこ、

旦那くんの前で使ってあげてください…

(目の前の巨根に圧倒され、ゴクリと唾を飲み込む音)

ああ、ベッドに腰降ろして、
デカちんぽ反り立たせて、
私の方に見せつけてる。

今すぐしゃぶって機嫌とれよって、
旦那くんの前なのに、
偉そうにしてるおちんぽ様、たまらない。

(恋鈴：中・密着)

ほら、デッカイ金玉、ナメナメしてゝ
(フェラ 5秒)

(レロ、ジユル、と睾丸を転がす水音)
おちんぽ、すごい…

このおちんちん…

おまんこに…
入れてもらええると思ったら…
おまんこ、きゅんきゅんして、

マゾに目覚めた
変態ビッチおまんこ感じちゃうっつ！

(裏筋を這い上がる舌使い、チュッ、チュツと吸う音)
ほら、金玉ナメナメしてゝ
ゆっくり、裏筋からちんぽの先っぽまで、
舌で舐めつけてゝ

(フェラ 5秒)

ちんぽの先っぽにほら、
唇でチュツチュッてキスしてゝ

おちんぼ様…

おしゃぶりさせてくださいのお願い、
完了しちゃった。

（恋鈴：中・中）

（夫の方をチラリと見る）

ほら、旦那くん見て？

私、今からおちんちん…

他の人のデッカイおちんちん…

おしゃぶりして、

ズボズボさせてもらうから…

しっかり、旦那くん、

私のおしゃぶり見ててよ？

（自分に言い聞かせるように）

だって…

これは、

しょうがないよね？

だって旦那くんが

負けちゃったのが悪いんだもの。

強いオスに喧嘩売って…

負けちゃって…

負け犬みたいに

押しえつけられてる君が、

全部悪いんだから。

だから、

奥さんがデッカイおちんちんに

浮気おしゃぶりしちゃうの、しょうがないよね？

(恋鈴：中・密着)

(ジュボっ、ジュボっ、と太いものを口腔いっぱいには含む音)

ほら、

デッカイおちんちんしゃぶしゃぶしてゝ

(フェラ 10秒)

んんっ、ふぁ、ちんぽデカいゝ

おちんぽしゃぶりの…

多幸福感すゝいゝ

情けない粗チンとは全然違うのゝ

(理性が溶け出し、言葉が拙くなっていく)

デカちんぽ美味しい、

おっきいおちんちん。

お口おまんこで出し入れしてるとゝ

どんどん頭おかしくなつてゝ

脳の中まで…

おちんぽのことしか

考えられなくなる。

(ジュルジュルと激しく吸い上げながら)

おちんぽ好き、おちんぽ好き、

おちんぽ好きっ！

デッカイおちんちん、

上目遣いで、ジュッポジュッポしながら、

お目々ハートマークにして、

それでデカちんぽ様、

美味しそうにお口おまんこフェラ、頑張っちゃつてゐのゝ

(片手で自分の秘部を弄り始める水音が混ざる)

私のちっちゃいお口じゃ…

全然足りないから～

半分ぐらいしか

おちんちん出し入れできてないけど、

おまんこも大興奮して、

自分でほら、

指でズリながら

大興奮しちゃってるよ？

(指マンの速度が上がり、息遣いが荒くなる)

おちんぽ好き、おちんぽ好き～

(フェラ 5秒)

ああ～おまんこ～

自分でぐっちよぐっちよ～

指マンでズリながら～

デカちゃんぽ様に…

ご奉仕するの好きい～

(ガツと頭を掴まれ、喉奥まで突かれる音。オエっ、という嗚咽)

あ、やだ、

デカちゃんぽ様、両手で頭掴まえて…

(復唱する感じで)

全部啜えこめよ…

このビッチおまんこっつて…

半分しか入らないちっちゃいお口に、
強制的に喉おまんこズボズボされる、
イラマチオフェラさせられてっ～

(苦しげだが、歓喜に満ちた窒息寸前の声)
んっ！ぐっ、おっ、

苦しいけど、おちんぼ好き、

おちんぼ好き、おちんぼ好きっ！

私のお口、完全にオナホ扱いされて、
デッカイおちんちん

奥まで突き入れられるの大好きい。

デッカイおちんちんで、

お口おまんこ壊されるの大好きい！

(喉を鳴らし、射精を待ちわびる)

出して、出して、出して！

私の胃袋に、ザーメンたっぷり
びゅーびゅーしてください！

喉奥まんこガンガン犯して、
おちんちんザーメンぶっ放してくださいっ！

ああゝ来る、来る、来るっ！
ザーメンくりゅうーっ！

(ゴキユっ、ゴキユっ、ンゲ、と大量の精液を喉で受け止める音)

んぐっ、んっ、んっ！

ぷはぁ…んっ！

(口端から溢れたものを拭いながら、恍惚とした余韻で)

はぁ、はぁ、はぁ。

胃袋にザーメン、びゅーびゅー発射されてゝ

旦那じゃない男の人の精子、
私の体の中に、全部吸収しちゃったゝ

（夫を見下ろし、完全に堕ちた笑顔で）

あはあ、見て？旦那くん。

（ちんぽにキスフェラ 5秒）

私…

すごい強いお精子、胃袋に貰って…

嬉しそうにおちんちんにキスしながら…

『ありがとう、ありがとう、ありがとう』の
スケベキスしちゃってるよ？

（萎えたペニスにチュツと音を立ててキスをし、ねだるように）
この、デッカいおちんちん、
しっかり出し入れしてもらいたかったから…

お口おまんこで…
いかせちゃったのは
ちよつと残念だったけど…

（恋鈴 左・密着 さきやき）
でも、

このあと…
おまんこで
中出し…しちゃうから…
しっかり見ててよ？
旦那くん

（トラック④ 恋鈴さん43ページ）

（長瀬：やや左・遠）
（心底面倒くさそうに、重たいため息を吐きながら）
はあ〜マジでダルいなあ〜

今、あんたの奥さんとアタイの男がさ…

デッカいちんぽ使って

穴掘りセックス

してるかもしれないって言うのに…

アタイは…

こんな粗チンの相手しろなんて、

マジでダルくて終わってる。

(衣擦れの音、ベッドに重みをかける音)

(長瀬:やや左・中)

はあ？

しょうがねえだろ

アタイはさ、

彼の言うことだったら、

何でもすんだよ。

たとえ…こんなちっちゃい

ショボチン野郎だとしても、

相手してこいって言われたら…

しょうがなく“やる”しかねえっていうの。

「お前の女抱いてやるんだから、

俺の女貸してやるよ」って、

優しくてカッコいい彼の、

男気を無駄にすんじゃねえぞ？

(蔑んだ目つきで股間を見下ろし)

大体、

あんたの“しょぼいちんぽ”でなんて…

気持ちよくなれるわけねえし、

テクだって全く期待してねえから。

そこに寝そべるだけでいいからさ、
自分の奥さんが今、隣の部屋で
寝取られてるかもしれないねえってのに…

その勃起してる情けない粗チン、
アタイが惨めに、

射精させてやるからさ、

さっさと出して、
もっと惨めになっちまえよ。

(長瀬：中・中)

ほら、

アタイとセックスできると思ってた
勃起させてる情けない雑魚ちんぽ…

ほら、上からおまんこ下ろして、
食べてやるからよ。

ふん

見えるか？

アタイのデカパイ。

あんたの奥さんと同じサイズの、
すごいエロいパイオツだろ？

こんなスケベなもの拝みながら…
ちんぽ食べてもらえるなんて
嬉しいなあ？

(ゴムが擦れる音、跨って腰を下ろす音)
ほら、ゴム付きの粗チン、
全然“気持ちよくは”ないだろうけど、
上からまんこ下ろして…
ズボってやるから、せいぜい早く射精しろよ？

（ゆっくりと飲み込むような、ぬぷりという挿入音）

ほら、

デカパイをゆきゆき揺らしながら…

大股開きで、

スクワットのマン振りポーズして…

（長瀬：中：近）

ちんぼ、ほら、

上から食べてやる。

おりゃ、挿入。

（ガツカリしたように、鼻で笑う）

うわゝ

なにこれ…マジでちっちゃ…

いつも使ってる

デカちんぼと違って…

全然入ってる感触しねえし。

ほら、ほら、ほら。

（パン、パン、と肌がぶつかる音、ベッドの軋み）

なんだよ、ちょっとちんぼに跨って、

腰2、3回振っただけで、

イク、イク、イクって、

なに女みてえな声出して

射精しそうになってんの？ マジでギョッ。

（長瀬…左・密着）

なあ…お前…

悔しくないのか？

今、隣の部屋で、お前の女が、

デッカいちんぽでズボズボされてんだぞ？

こんなちっちゃいちんぽの

情けないピストンじゃなくて、

デッカいちんぽで、ほら、

こうやってズドン、ズドン、ズドンって！

（比較して煽るように、声を荒らげる）

子宮を直接、

ちんぽの先っぽで小突かれながら、

おまんこミチミチにされて、

それで脳ミソの奥まで届くような、

エグい刺激与えられて、

おまんこズボつけられて、

すぐにでもまんこイキするような、

エグいセックスされちゃってんだから、

あんたも、もっと悔しがれよ？

ほら、ほら、ほら！

（長瀬…中・近）

はあ、何だよ、最低だな、

妻のまんこより気持ちいい？

あんな緩マンじゃなくて、

筋肉質のつよつよおまんこで、

ちんぽ出し入れされんの

マジで気持ちいいって？

自分の奥さんが

他のオスに食べられてるくせに…

他の女のまんこでイこうとして、

気持ち悪い射精しようとしてる変態！

こんな気持ち悪いちんぽ、

ゴム付きじゃなかったら…

絶対無理。

（膣内をギュウと締め付けるような、苦悶に近い吐息）

（長瀬・右・密着）

ほら、アタイのまんこ、

すっこい締まるだろ？

いつも、膣トレして、

まんこ鍛えまくってるから、

このちんぽの何倍も…

デカイちんぽで

耕されてるのに、

めちゃくちゃ気持ちいいだろ？

だって…

こんなちっちゃいちんぽじゃなくて、

デカイちんぽで相手するためには、

ちゃんとまんこ鍛えとかないと、

すぐにぶっ壊されちまうからな。

あんたの奥さんの

弱そうなまんこは、

今頃…デカちんぽにズッポズッポされて、

まんこ永久に閉じないオナホ穴に

改造されちゃってるかしんねえぞ？

あんたら夫婦が

いくらセックスしようと思っても、

デカちゃんぽの味を

知っちまった緩マンじゃ…

二度とまともなセックス

できねえかしんねえな？

（長瀬：中：近）

ほら、雑魚雑魚ちゃんぽと、

雑魚雑魚まんこ同士の、

情けないゴミセックスを

思い浮かべながら、

情けなくイっちゃえよ。

（顔を近づけ、見下すような視線で）

ほら、

こんな雑魚ちゃんぽ相手すんの

もう飽きたから、さっさとイけよ。

このあともっと面白いもん、

見せてやるからさ。

（右耳で煽り立てる）

ほら、出せ、出せ、出せっ。

情けなくイっちゃえよ。

お前ら二人は、

もう二度と…

普通の生活には戻れねえんだよ。

こんなちっちゃいちゃんぽと、

オスにぶっ壊された変態妻なんかじゃ、

もう二度と…関係修復なんて絶対できねえ。

悔しいなあ、

恥ずかしいなあ？

ほら、

だから惨めに敗北射精しろ。

この雑魚ちゃんぽから

白い負け汁漏らして、

さっさとイけ。

ほら、出せ、出せ、ほら、出せっ！

だー！ー！せ！

（興味なさそうに、淡々と見下ろす）

あゝあゝ

いったいった。

まんこの中でトロトロって

雑魚ザーメン漏らしやがって。

まともな

セックスもできないような…弱ちゃんぽで…

なに人様のまんこで

ゴム付き射精してんだよ、

マジで終わってんな。

（身体を離し、ゴムを外す音）

（長瀬：中：中）

じゃー、

いいよ？

隣の部屋で絶賛まんこ掘り中だと思うけど、
今から見学しにいったらどうだ？

（長瀬：右・密着）

そんなちっちゃいちゃんぽじゃ
相手にすら…されないだろうけど…

屈辱感で脳みそ、
壊れて来いこの…
寝取られザコが

（場面転換：隣室へ）

（トラック⑤）

（恋鈴：中・中）

（ベッドの上で、力なく横たわりながら虚ろな声で）

（やや左・中）

ああ…

旦那くん、見ないで…見ないで……

私、もう…指一本だって動かせないの…

今さっき、

あのデッカイおちんちんで…

私のおまんこ、

たくさんズボズボされて…

イカされちゃったの…

（だらしなく開いた股間を見せつけるように）

ねえ、見える？

もう…開きっぱなしになった
おまんこから出てくる
大量の白いの、見えるでしょ？

これ、

さっきのデカちゃんぽから、

たくさんびゅーびゅー

お漏らしされちゃったの。

(恍惚とした表情で、独り言のように)

デッカイおちんちんで、

中にびゅーびゅー何度も…何度も…

お漏らしされて…

強引になんどもされて…

おまんこ許してもらおうと思って…

いくら謝っても…

全然…許してもらえなかったの。

それで、

ずーっとずーっと…

デッカイおちんちんに犯され続けて、

私、もう頭の中、

もう…“このおちんちん”のことしか…

考えられないくらい、

何度も何度もイカされて…

私の“おまんこ”壊されちゃった…

(とろんとした声で、完全に理性が飛んでいる)

(夫の接近に気づき、拒絶する)

(恋鈴:中・近)

え、旦那くん、

なに？

嫌だよ…なんでおちんちん勃てるの？

自分の奥さんが、

カッコよくて強いオスちんぽに

中出しぴゅっぴゅされて…

もう…放心状態で身体動かないのに…

なんでそのガチガチのちんちん

入れてこようとするの？

(中・近)

(必死に抵抗する衣擦れの音)

やだ、入れないで！

私…今…女として生きてきた喜びと嬉しさを
噛み締めてるところなんだからっ。

満足感と虚脱感で満たされて

動けない私の体に

触れようとしてこないで！

ああっ、腰掴んで、

情けなくて…

恥ずかしいちっちゃいおちんちん、

自分の奥さんのおまんこに…入れないで、っ！

ああっ

入ってきた、入ってきたっ

ちっちゃいおちんちん、

入ってきた！

気持ちわるい…

へこへこ、へこへこ、腰使っちゃってる。

(スカスカという空気が抜けるような情けない音)

あれ？ おちんちん…

全然…おまんこ…擦れてないよ？

さっきまで…

デッカイちんぽで耕されて、

もう…ガバガバになって、

おまんこ…閉じなくなっちゃってるから…

そんな…ちっちゃいおちんちんじゃ…

いくらおまんこズリズリしても、

全然おまんこ使えてないよ？

(憐れむような、冷ややかな視線で)

ああ、

ちっちゃい、

恥ずかしい、

情けない…

今まで、

こんなおちんちんで

セックスしてた気になってたの…

私…とっても恥ずかしいよ…

頑張って

出し入れしても空気がスカスカで、

全然おまんこのこと

気持ちよく出来ない…

粗チンなんかと…

セックスなんて…

もう…二度としたくないの

(夫の射精の気配に気づき、嫌悪感を露わにする)

(恋鈴:やや左・密着)

あ、やだ、やだ。

ちっちゃいおちんちん、中出ししようとしてる。

こんなちっちゃくて恥ずかしくて
弱いおちんちんで

作ったザコ精子なんて…

おまんこに…ぴゅっぴゅされたくないのに…

おちんちん勝手に盛り上がって、

屈辱感と悔しきで、

へこへこ、へこへこ腰振りながら、

犯されたあとの

自分の奥さんのおまんこで

残念射精しようとしてへこついてるゝ

恥ずかしいゴミ旦那くんなんて

全然好きじゃないのにゝ

勝手におまんこで

中出ししようとしてこないで！

旦那くんの情けなくて

弱いお精子なんて…

この強いデカキンタマで

作ったお精子に

絶対勝てないよ！？

私のおまんこにぴゅっぴゅ、

恥ずかしい情けなくて弱い精子、

数滴垂らしちゃって、

子宮に辿り着く前に

強いお精子で全部殺されて、

おまんこ子宮、

絶対に使えないんだから、

早くおちんちん抜いて、諦めて！

（諦めと軽蔑が入り混じった声で）
ああ、ちんちん速くなってきた。

皮付きの雑魚ちんぽ、
どんどん速くなってきた、
中出ししちゃう気だあ。

（仕方なく膣を締めてやる、という上から目線）

ほら、

早くイって欲しいから、
おまんこ頑張って締め付けて、
おちんちんイかせてあげる。

さっさと雑魚ちんちんから、
恥ずかしくて情けない
トロトロびゅっぴゅお漏らしして、
私のおまんこから出て行って！

（恋鈴：左・密着）

ほら

さーん。

（全く感じていない、事務的な声）

おまんこ、
全然気持ちよくないの。

へこへこへこへこいくら腰振られても…
小っちゃな異物が
入ってるみたいで、
私まで…恥ずかしくなってるよー

にーい。

ほら、おまんこキュッキュ締め付けて、
雑魚おちんちんのお精子、お漏らしさせてあげようとしてるよー。

もう…

イきたいんでしょう？

じゃあ早くイって？

私のおまんこ、

さっきデッカイおちんちんで

びゅーびゅー射精されまくってるから…

今頃…子宮までお精子が届いて…

卵子ちゃんを

食べようとしてるんだから、

邪魔しないで！

いーち。

ほら出る、

ほら出る、ほら出る。

雑魚ザーメン、

お漏らしぴゅっぴゅ、

恥ずかしい金玉で

作ったよわザーメン、

ガバガバになって、

まったく感じてない、

奥さんのおまんこ子宮に発射っ！

ぜーろっ！

だーせー！

（中・近）

あああ、びゅびゅってゝ

たったのゝゝ滴しか出ない

ザコおちんちん、本当に恥ずかしいゝ

(夫が果てた後、残酷な笑顔で語りかける)

ねえ…おちんちん…

気持ちよかった？

自分の奥さんの中古おまんこで

恥ずかしい…お漏らしできてよかった？

そうなんだ…

気持ちよかったんだ…

寝取られて、

奥さんのおまんこ使わせてもらうの…

気持ちよかったんだ？

(左・密着 ささやき)

じゃあ、

彼、私たちのお家に、

しばらく泊まってくれてっていうけど…

いいよね？

自分の奥さん毎日寝取ってもらって、

そのあと…

私たちの情けないおセックスも

しちやおうね…

わかった？

旦那くん…